

おおた しぼ
太田の絞り



■沿革・特徴

糸で括った部分は染料が乗らず、糸抜きをするとうろ模様が浮かび上がる。絞りは、総て手作りであるため、絞りの力加減や染色の微妙な差により、一粒一粒に括った作り手の温もりが込められている。

太田の絞りは、有松・鳴海絞から技術を取り入れ、約100年間、伝統の技を受け継いでいる。

■主な製品

着 尺 (12万円程度から)
風呂敷 (2,500円～2万円程度)
スカーフ (2,000円程度から)
ハンカチ (1,000円から)

■製造者名

(株)橋本絞店
(橋本 徹、飯島 節乃)

■住所

〒373-0813
太田市内ヶ島町1435

■問い合わせ先

TEL 0276-45-4725
FAX 0276-45-2984

きりゅうよこぶりししゅう
桐生横振刺繍



■沿革・特徴

桐生は大正初期に横振刺繍ミシンが導入されて以来、全国でも有数の横振刺繍の産地として発展してきた。

金糸、銀糸を始めとした多種多様な絹の色糸から打掛や振袖に描き出される模様や絵の美しさは、華やかにして温かみのある美しさを醸しだし、桐生の技術の高さを表わしている。

■主な製品

打掛、振袖、和装品、洋装品、肖像画、織帳

■製造者名

桐生刺繍商工業協同組合、
荒木 千恵子

■住所

〒376-0044
桐生市永楽町6-6
(桐生刺繍商工業協同組合)
〒376-0601
桐生市梅田町1-535-16
(荒木千恵子)

■問い合わせ先

TEL 0277-22-7919(桐生刺繍商工業協同組合)
FAX 0277-22-7929(桐生刺繍商工業協同組合)
URL <http://www.shisyukumiai.com/>
TEL 0277-32-2922(荒木千恵子)

きりゅうしぼり
桐生絞



■沿革・特徴

桐生は古くより絹織物産地として栄え、染め、織り、絞りの技術に長けた産地であった。桐生絞は、伝統的工芸品である桐生織をはじめとして織物に絞りの技法を自由な発想で多数組み合わせ、施すことにより染め、織り、絞りの三位が一体となった斬新かつ繊細な高度な作品となっている。桐生産地の優れた技術の一つである。

■主な製品

正絹絞り着物、訪問着、羽織、コート、帯、シヨール、二次製品

■製造者名

泉織物(有)
(泉 明嘉、金井 秀、
泉 太郎、泉 恵美子)

■住所

〒 376-0034
桐生市東 5-5-16

■問い合わせ先

TEL 0277-45-2449
FAX 0277-45-2450
URL <http://www.izumi-orimono.co.jp>

じょうしゅうたかさきちゅうせんて

上州高崎注染手ぬぐい



■沿革・特徴

染物が盛んな高崎市に明治 30 年から創業し、注染の技法を現代に受け継ぐ。生地を数十枚と重ねた上から染料を注いで染み込ませ、布の両面を同時に染め抜くことで、色合いや図柄に独特な風合いが生まれ、肌触りの良い手ぬぐいが出来上がる。

祭りや年始のあいさつ品として喜ばれているほか、デザインを工夫したオリジナル手ぬぐいの製造や、ライフスタイルにあわせた新しい使用方法の提案が人気を呼んでいる。

■主な製品

注染手ぬぐい

■製造者名

(有)中村染工場
(中村 仁太郎、中村 純也)

■住所

〒 370-0816
群馬県高崎市常盤町 40

■問い合わせ先

TEL 027-322-5202
FAX 027-325-8656
URL <http://www.nakamura-some.com/>
E-mail info@nakamura-some.com

じょうしゅうあつら ぼんてん
上州誂え袴纏



■沿革・特徴

印染（しるしぞめ）とは、はんでんやはつび、のれんなどに文字や紋章を鮮やかに染め付ける技法で、表からだけでなく裏側からも図柄がはっきりと見えるように仕上げるため高い技術が求められる。

現製造者は、高崎市で江戸時代末期に創業した老舗の6代目として、文様の形や色彩を表現するデザインから、染色、縫製まで一貫した製造を手掛ける。

色鮮やかに染められたはんでんは、地域の祭りで愛用されるほか、職人の本格的な仕事着として全国から注文が寄せられている。

■主な製品

祭袴纏、薦袴纏、のれん、神社袴

■製造者名

(有)丑丸染物店
(丑丸 浩)

■住所

〒370-0068
群馬県高崎市昭和町 231

■問い合わせ先

TEL 027-322-3583
FAX 027-322-6698
URL <http://www2.wind.ne.jp/ushimaru/>
E-mail ushimaru@po.wind.ne.jp

しょうあいぞめじょうしゅうおぐらおり
正藍染上州小倉織



■沿革・特徴

長年にわたり培われた織物づくりの技術と藍へのこだわりから、藍染で綿糸を染める製法により、色目の変化を織り方で表現する。

藍の濃淡が美しい縞模様の鯉縞（かつおじま）や、華やかな格子柄など、味わい深い風合いの布地を織り上げる。

染色、整経のほか、デザインや縫製も手掛け、丹念に仕立てられた製品は、丈夫で使いやすく、使い込むほどに色の変化が楽しめるため、長く愛用されている。

■主な製品

シャツ、ブラウス、帽子、作務衣

■製造者名

今勇織物
(今泉 平八)

■住所

〒376-0041
桐生市川内町 2-235-2

■問い合わせ先

TEL 0277-65-9520
FAX 0277-65-9520